

農業振興課 乳用牛の県代表に本市から3頭 第14回全日本ホルスタイン共進会出品者が市長表敬訪問



左から、前谷さん、藤本さん、和田さん

第14回全日本ホルスタイン共進会が10月23日～26日に北海道勇払郡安平町で開催され、広島県内5頭の代表牛のうち、本市から3頭が代表牛として選ばれました。出品したのは一木町の前谷隆博さん、大久保町の藤本雄紀さん、東城町の和田慎吾さんの3人。出品者は10月8日、木山耕三市長を表敬訪問し、決意表明をしました。全日本ホルスタイン共進会は、全国から優れた乳用牛を一堂に集め、改良の成果と水準を広く示すことで、改良増殖の推進と堅実な酪農の発展を目的として、5年おきに開催されています。本市は県内有数の主要酪農地帯で、飼養戸数・頭数は県内の約2割を占めています。今後も、安定した酪農経営の展開を図るため、さまざまな方面から支援し、酪農振興を進めていきます。

教育指導課 本市教育の今を披露し、今後の教育を考える 庄原市教育フォーラム開催



板橋小5年による公開授業の様子

庄原市教育フォーラムを9月26日、市民会館で開催し、約750人が参加しました。オープニングでは、美古登小4～6年児童による「美古登ばやし」の大鼓演奏、中間健次郎さん(高野中3年)による「英語スピーチ」が行われ、地域の伝統文化を受け継ぐ姿、日本語の大切さについて英語で思いを伝える姿を披露しました。開会後には、板橋小5年を対象に外国語活動の公開授業をステージで行い、日頃授業で行っている英語を使ったゲームやインタビュのの様子を披露しました。続いて、文部科学省初等中等教育局教科調査官直山木綿子さんの講演では、「庄原市の外国語教育

高齢者福祉課 市長が長寿者を表敬訪問 100歳以上に敬老祝金を贈呈



生後10カ月の玄孫、成喜くんとお祝い状を受け取る、太谷行雄さん(東城町)

木山耕三市長が10月6日から16日にかけて、市内の百歳以上の長寿者を訪問し、敬老祝金を手渡しました。あわせて、本年度中に満百歳を迎える方(基準日：9月15日の「老人の日」)に贈られる内閣総理大臣からのお祝い状と記念品の銀杯を手渡しました。本年度の敬老祝金贈呈対象者(大正5年3月31日以前に生まれた方)は64人(男性8人、女性56人)、市内最高齢者は女性が満105歳の方、男性が満101歳の方となっています。

高齢者福祉課 地域単位で介護予防を目指す 庄原市シルバーリハビリ体操2級指導士養成講習会開始



体操を学ぶ出席者

「庄原市シルバーリハビリ体操2級指導士養成講習会」が10月7日、西城市民病院で始まり、初日の開講式に第1期生19人が出席しました。この講習会では、解剖運動学や体操実技など全8日間40時間わたる講習の全過程を終了すれば、シルバーリハビリ体操2級指導士として認定されます。出席者は開会行事終了後、早速郷力和明医師の講義や理学療法士による体操実技などを教わり、真剣なまなざしを取り組んでいました。市は、平成29年度末までに指導士を160人養成し、指導士を中心に住民が自ら健康づくりに取り組み、住民同士が教え教わりながら、継続して介護予防に取り組むことができる地域づくりを目指します。第1期生は11月末に講習会を修了したのち、ボランティアで地域の高齢者へ体操を指導していく予定です。

情報政策課 やっぱり庄原がいちばんと思えるまちづくりのために 市長懇談会「庄原いちばん談話」開催

団体名・開催日	懇談の概要
広島県建設労働組合第12地域連合庄原 9月24日	テーマ「地域産業の活性化、商工業」 公契約条例、住宅リフォーム補助制度、空家バンクについて
庄原市社会福祉協議会 10月8日	テーマ「暮らしの安心・安全、福祉」 庄原市における地域包括ケアシステムの推進、新しい総合事業に向けた取り組み、生活支援コーディネーターの設置等について
東城町商工会青年部 10月20日	テーマ「地域産業の活性化、商工業」 持続可能な商工業の振興、人口減少問題から見る商工業の将来、新産業の創出について

市は市長と市民が直接対話する機会として、平成26年度から市長懇談会「庄原いちばん談話」を開催しています。平成27年度は、市内の各種団体を対象に5月から実施団体公募し、応募があった3団体と懇談しました。参加者から出された意見を参考に、今後の市政運営に生かしていきます。



9月24日の懇談の様子

商工観光課 就職希望者と求人企業とをマッチング 庄原市合同就職面接会



会場の様子

市とハローワーク庄原は9月19日、庄原市ふれあいセンターで庄原市合同就職面接会を開催しました。この面接会は、庄原で働く意欲のある方を広く募り、直接面接による就労支援と企業の人材確保を目的に、毎年開催しています。昨年度は11人の内定者が決まりました。当日は、市内の建設業やサービス業、医療機関、社会福祉法人など、過去最多の36社・団体が参加し、求職者も幅広く学生から60歳代まで52人が来場しました。参加者からは「Uターンを考えており、たぐさんの庄原の企業の説明を聞いてよかったです」との声が聞かれました。面接会終了後、早速採用内定を出したいという企業もあり、求職者と参加企業にとって意義ある面接会となりました。

商工観光課 地域活性化の鍵となる民泊を学ぶ 民泊セミナー開催

庄原市とやま体験交流協議会は9月18日・19日、市内4会場で民泊セミナーを開催し、延べ92人が参加しました。このセミナーでは、体験型教育旅行の第一人者の藤澤安良さんを講師に迎え、18日は庄原市ふれあいセンター、比和自治振興センターで「民泊とは何か」や「民泊がもたらす地域活性化の効果」などについて学び、19日は高野・東城地域の一般家庭で実践的な受入研修を行い、受け入れの手順や子どもとの接し方、注意点を学びました。受講者は「とても良い取り組み。早く受け入れたい」「子どもとの接し方など、実際の受け入れのイメージがつかめた」と話していました。興味のある方は、協議会事務局(庄原市観光協会 ☎0824-75-0173)にお気軽にご連絡ください。



藤澤さん(右から二人目)から、受け入れの手順などを学ぶ参加者

危機管理課 1階フロアに大型テレビ 備北地区危険物安全協会が寄贈



市役所1階のフロアに設置されたテレビの前で、あいさつする有田会長

10月17日に開催された、備北地区危険物安全協会設立50周年記念式典で、協会設立50周年の記念品として、庄原市に60型の大型テレビが寄贈されました。備北地区危険物安全協会は、庄原市と三次市内の危険物を取り扱う167事業所の会員で構成されており、災害予防思想の普及啓発をはじめ、危険物施設の保守管理などを積極的に推進し、地域社会の安全確保に大きく貢献しています。有田雅俊会長は「おかげさまで設立50周年を迎えることができ、これを記念して寄贈させていただきました。市民の皆さんに有効に活用していただければ幸いです」と話していました。